

IBM量子コンピュータ見学

日時：令和5年10月4日（水）14時～

場所：日本IBM新川崎事業所

大津様の進行により、見学会&ラウンドテーブル（IBMで働く社員と話してみよう！）のスタート！と思いきや・・・



サプライズで、山口社長からウェルカムメッセージがありました！

ご自身の学生時代、キャリア、課題解決への思い等にも触れながら、激励をいただきました。



その後、半導体研究を率いる山道様から、半導体開発の歴史や、世界一小さい半導体を作るIBMの技術等について、お話いただきました。



次に、大津様からラウンド
テーブルにご参加いただ
く社員の方々をご紹介い
ただき・・・



グループに分かれて、ラウンドテーブルが行
われました。



その後建物を移動し、いよいよ量子コンピュータが稼働する、温度管理された室（けっこう寒い）に入室です。



始めに、永田様から、量子コンピュータの実物を目の前に、動作や冷却の原理など、専門的なご説明をお聞きした後・・・

日本で1台しかない、127量子ビットで稼働している量子コンピュータを見学しました。この筒のようなものが、稼働している量子コンピュータです！



学生の感想等（抜粋）

・最初に日本 IBM の社長からお話をいただきましたが、終始笑顔で話していて、自分の想像していた社長のイメージと違って印象に残りました。

- ・社員さんとディスカッションをしていろいろな進路選択をして今があることがわかりました。
- ・量子コンピュータは最先端のコンピュータで、1万年かかる計算が数日や数時間で解けるなど計算処理がとても速く、新素材開発、創薬、金融などに役に立つことを知りました。
- ・量子コンピュータは量子を絶対零度近くまで冷やす必要があり、その冷却技術もすごいと思いました。
- ・将来のキャリアや研究において、量子コンピューティングの分野に興味を持つきっかけになりました。
- ・お話を聞いていると、ほぼ全ての方に暗黒時代があり、そこからすごい努力をしてはい上がってきているのがとてもすごいし、とても勇気をもらいました。
- ・意外に文系の方が多く、社員の方が言っていたとおり、今考えている就職の道に行くとは限らないことなど、今後の進路を見直すきっかけになる新しい考え方をもつことができ、とても自分のためになった。
- ・「不便を楽しむ」という名言はとても刺さりました。
- ・今回話してくれた方のように、苦勞したりすることがあっても前向きにとらえていこうと思いました。
- ・何事も簡単ではなく、何かを成し遂げるのに時間をかけた過去があって今の便利な物や機能がある、ということに共感しました。
- ・自分も自分に合った職業に就くことができるように、それに見合った資格の勉強などに力を入れていきたいと思いました。